

令和6年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	美術振興課
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
施設種別	文教施設

1. 指定概要

施設概要	名称	アートプラザ						
	所在地	大分市荷揚町3番31号						
	設置目的	市民の芸術文化活動の振興を図り、もって市民文化の向上に資すること。						
指定管理者	施設の建築年 (又は事業開始年)	昭和41年度						
	名称	アートプラザ共同事業体(㈱コンベンションリンケージ、㈱メンテナンス)						
	代表者名	代表構成員 株式会社コンベンションリンケージ 代表取締役 平位 博昭						
指定管理業務の内容	所在地	大分市府内町1丁目3番18号 ポラリス府内						
	指定管理業務の内容	①管理施設の使用許可に関する業務 ②管理施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務 ③管理物件の維持管理に関する業務 ④その他指定管理に付随する業務 ただし、3階磯崎新建築展示室及び2階60年代ホール展示業務、並びに1階収蔵庫本来の業務管理は市直営とする。						
	料金体系	入館料：無料 貸館料：市民ギャラリーA：5,500円/日、市民ギャラリーB：2,350円/日、アートホール：9,950円/日・1,200円/時間、研修室：720円/時間、実技室：220円/時間 1.利用時間に1時間未満の端数があるとき、又はその利用時間が1時間未満のときは1時間とする。 2.冷暖房期間中は、上記により算定した利用料の4割に相当する額(その額に10円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てた額)を加算。						
利用料金制	導入済	選定方法			公募			
指定期間	令和6年4月1日～令和9年3月31日 (3年間)			導入年度	平成19年度			
利用者数 (単位：人)		R5年度 目標④	180,000		達成率 ①/④	63%		
18年度② (前年度)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度③	R5年度①	18年度比 ①-②	R4年度比 ①-③	
138,162	161,900	56,609	78,624	105,623	113,410	▲ 24,752	7,787	
管理運営経費の削減額 (直営比較時) (単位：千円)								
直営時 管理運営経費(b)	前指定期間 最終年度30年度(c)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(a)	直営時(初年度)比較 (a)-(b)	前指定期間比較 (a)-(c)	
79,413	73,540	76,026	75,931	75,949	76,100	▲ 3313	2560	
利用者満足度 (%)		満足	やや満足	配置職員数 (人)		直営時又は導入1年目	令和5年度	
		81	11			10人(直営時)	23人	

2. 評価結果

評価項目及び評価のポイント							
1 施設の設置目的の達成(有効性の向上)に関する取組							
(1) 施設の設置目的の達成							
①施設の特徴を生かし、施設の効用を高めるための取組がなされているか。							
②施設の設置目的に応じた効果的な広報など情報発信がなされているか。							
③施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組がなされ、その効果があったか。							
【実績】 利用料金収入：(R1)4,466千円、(R2)3,089千円、(R3)3,621千円、(R4)3,863千円、(R5)4,159千円 自主事業収入：(R1)5,998千円、(R2) 370千円、(R3)1,351千円、(R4)1,706千円、(R5) 826千円 ○令和元年度以前に比べ、利用料金収入および自主企画事業収入が減少しているが、前年度と比較すると、利用料金収入は約29万円増加した。 ○ホームページや機関誌、インターネット、類似施設との連携をはじめ、新聞やラジオなどの広報を積極的に行い、アートプラザの認知度の上昇およびイベントへの参加を促すことに努めている。 ○貸館業務においては、市民の作品展示を積極的に受け入れており、自主企画事業においても、地元の若手アーティストへの支援を行うなど、施設の設置目的に沿った事業を実施できている。							
(2) 利用者の満足度							
①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。							
②サービスの質や量は向上しているか。							
③利用者の苦情や要望、意見を把握し、その対応を行っているか。							
④利用者への情報提供が十分になされたか。							
【実績】 自主企画事業開催件数：(R1)49件、(R2)37件、(R3)48件、(R4)55件、(R5)51件 ○文化芸術活動に関する自主事業をはじめ、他にも多種多様な分野で実施されており、利用者からの満足度は高い。 ○令和5年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が第5類へと移行したため、徐々に客足が戻り始めたが、令和元年度と比較して利用者数が約70%にとどまった。 ○防災訓練や介助研修等、教育指導を徹底しており、施設利用者およびイベント主催者への対応は良好である。 ○利用者、来館者のアンケートや、セルフモニタリングによる対応はもとより、直接の苦情・意見等にも迅速な対応に努めている。 (アンケート概要)方法：2階と3階の受付にアンケート用紙と回収箱を設置。利用者やイベント参加者には直接回答を依頼 サンプル数539件							
2 効率性の向上等に関する取組							
(1) 経費の低減等							
①施設の管理運営において経費の縮減が図られているか。							
②清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。							
③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。							
【実績】 ○再委託は適切に実施されている。 ○節電の取組みや、使用済み封筒・ポスターの再利用などによる経費削減に努めている。令和5年度も前年度に引き続き電力料金が高騰しており、大きな費用負担が発生すると見込まれたが、政府の実施する「電気・ガス価格激変緩和対策事業」の補助もあり、昨年度に比べ光熱水費に対する支出が約257万円減少した。							
(2) 収入の増加							
①収入を増加させるための具体的な取組がなされ、その効果があったか。							
【実績】 利用料金収入：(R1)4,466千円、(R2)3,089千円、(R3)3,621千円、(R4)3,863千円、(R5)4,159千円 自主事業収入：(R1)5,998千円、(R2) 370千円、(R3)1,351千円、(R4)1,706千円、(R5) 826千円 ○アートプラザ開館25周年記念事業「think of Arata Isozaki」の実施や、指定管理者制度導入時から毎年度開催され、アートプラザを代表するイベントの1つである「アートマーケット」及び、アーティスト支援を目的としたミュージアムショップ企画展等を通して、収入の増加に動いている。令和5年度では、3階磯崎展示室への入館者数が4年ぶりに3万人を超えた。							

3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組	
(1) 施設の管理運営の実施状況	①事業計画等に基づく適切な人員配置や勤務体制となっているか。 ②従事者への教育・研修は、適切に行われているか。 ③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。
【実績】	○適正な人員配置を継続しており、良好である。 ○接遇研修、防災訓練、人権・同和問題研修などを積極的に実施している。また、施設の特徴を理解し、利用しづらい施設をカバーする接遇対応をしている点が評価できる。 ○勤務スタッフの地元雇用を行い、県立美術館などの他文化施設との連携や、建築キッズボランティアガイドの育成を実施している。
(2) 法令遵守、平等利用、安全対策、危機管理体制など	①関係法令(地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等)の遵守等に遺漏はないか。 ②施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。 ③市民の公平かつ平等な利用が確保されているか。 ④施設の管理運営(指定管理業務)に係る収支の内容に不適切な点はないか。 ⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。 ⑥事故発生時や非常災害時において適切な対応が取れる体制を確保しているか。
【実績】	○関連法令の遵守、個人情報保護対策は適切に行われている。 ○苦情やトラブルは少なく、公正な対応が行われている。また、市民からの意見を受け止め、改善可能な点是对応している。 ○月次モニタリングの際は収支確認において、適切な事務処理が行われている。 ○施設の老朽化が進んでいるが、適宜修繕等の対応を行い、利用者の安全確保に努めている。 ○市制定の指定管理者制度の新指針に基づくものに加え、独自で緊急時対応マニュアルを作成し、防災訓練を年2回実施することにより、緊急時の即応体制が確保されている。

【総合評価】

【所見】	指定管理期間の5年間のうち約3年半は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、利用者数や利用料金収入等が大きく減少し、現在も以前の数値に戻っていない。そのような状況下において、令和5年度はアートプラザ開館25周年記念事業として「think of Arata Isozaki」、「ピックアップアーティスト展」などを開催し、磯崎新氏や建築に関連した展覧会・バスツアーなどを行った。また、「磯崎新追悼式」や「磯崎新追悼シンポジウム」をはじめとした市各課主催行事において連携協力を行った。こうした取り組みにより、市民が磯崎建築を学ぶ機会の提供に寄与し、中心市街地における芸術文化の発信拠点としての機能を果たしていると考え。
【今後の対応】	今後も引き続き、中心市街地における芸術文化の発信拠点として、地域住民や商業施設、市美術館をはじめとした文化施設との連携を深め、市内外に向けた発信の場を広げること、新たな利用者層の獲得を期待したい。 併せて今後、施設の修繕箇所が増加が懸念されることから、指定管理者においては定期的なチェックやメンテナンスを実施し、施設所管課と連携する中で、予防保全に努めることが求められる。

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
・季節により稼働率に変化が見られるため、さらなる活用に向けて季節による利用料金の変動を検討されたい。 ・施設全体のLED 化は難しいと思うが、作品をより効果的に見せるための部分的なLED 照明を検討されたい。 ・モニタリング評価がここ数年同じとなっているため、市としての要望事項を記録として残しておくのが望ましい。	・市全体で施設使用料金に関する見直しを行っており、適正な料金を設定できるよう努めている。 ・LED照明については、市としても導入を進めているところであり、指定管理者の経費負担の縮小にも繋がることから、今後の改修計画を作成する上での最優先課題としていきたい。 ・毎月のモニタリングにおいて、市としての要望及び指定管理者の対応について記録を残していく。

【R6年度 指定管理者評価部会の意見】

①例年実施している自主事業について、モニタリングを通じて内容を充実されたい。 ②子供たちの活用を推進すべく、夏休みの課題に施設を訪れるような仕組み作りができないか検討されたい。 ③市内外から多くの人を訪れる「たのうらら」に磯崎建築を周知する仕組みを検討されたい。
